



2024～2025年度 山形東ロータリークラブ会報

第1649回例会 2025年3月7日(金)

点鐘 / 12:30 S.A.A. / 工藤 裕史

ロータリーソング/国歌、四つのテスト 会場/ホテルメトロポリタン山形

Rotary
第2800地区



RIテーマ RI会長:ステファニー A アーチック
ロータリーのマジック

地区目標 ガバナー:芳賀 康雄
ロータリーにもっと誇りをそして学びDEIの心を持って行動実践しよう

クラブテーマ 会長:深瀬 俊路 幹事:菅生 勝則
「シン・ロータリークラブ ピア・ロータリアン ハブ・ロータリー」

会長挨拶



深瀬会長挨拶

こんにちは。とうとう3月を迎えました。12月が師走と呼ばれ、何かと忙しい月と言われます。

けれども、私たちは、年末よりも年度末、年度替りの方が会合や総会等が目白押しで、かえって忙しいのでないでしょうか。3月は受験や卒業シーズンでもあり、まさに「師走」と呼び方を変えた方がふさわし

いと感じています。

今日は、ゲストスピーカーとして2800地区職業奉仕委員会第5グループ委員の山形中央 RC 所属の高橋恭治さんをお迎えして卓話をしていただきます。職業奉仕というのは、「職業人」であることが、私たちロータリアンがロータリアンであるための大前提条件です。「ロータリーの目的」の中には、「職業」の文字が3カ所出てきますから、会員諸兄におかれては、しっかりと研鑽を積んでいただくことを希望するものです。

私は、新暦と旧暦とを併用した生活を送っています。その理由は、インドや東南アジアにおける仏教圏では、月の満ち欠けを基本に活動を行っているからです。よく「土曜日曜は法事で忙しいでしょう」と質問を受けます。しかし、この曜日という感覚が日本に入ってきたのは、明治になってからです。二十四節気や五節句といった自然の運行と連動した生活設計がかつては基本でした。

自然破壊が進み、気候変動による温暖化は、私たちを取り巻く環境が大きな変化を余儀なくされてきています。スーパーを覗くと、野菜の値段高騰に歯止めがかかりません。

加えて、農業の後継者が激減しています。観光立県を誇示する山形県としては、切実な課題です。さくらんぼやラフランスが適地作物でなくなる日もそう遠くはないことでしょう。今年は豪雪で交通機関が乱れ、市民生活に大きな支障が出ていますが、市街地の平地でこのくらい雪が降らないと、もう蔵王の樹氷はできないといえます。

これは、私が今期のクラブ運営方針に掲げた「あたりまえを批判的に検討し、眼前の現実に即した新たな対応が迫られている」ことにつながると考えます。

今日は旧暦では、2月8日事始めに当たります。今日の卓話を手がかりにして、これから4カ月をロータリアンとして活動に邁進していきましょう。

幹事報告



菅生幹事報告

1. 本日の会員出席者17名になります。

2. 2月15日(土)第5グループ IM に当クラブから12名参加しました。

ゲスト卓話

職業奉仕セミナーを受けて感じた事、学んだこと
決議23-24の意義について等



山形中央 RC 高橋 恭治氏

ニコニコBOX

武田 正男: 高橋委員長を歓迎してと北海道・岩手のスキー場を満喫してきました。

荻野 武好: 高橋恭治さん卓話ありがとうございます。

白田 真人: 高橋様を歓迎して。

菅生 勝則: 高橋委員長の訪問に。

深瀬 俊路: 息子の進級が決まりました・高橋さんを歓迎して・妻に感謝

安部 政昭

出席情報

	会員総数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本日	27名	—	17名	—